

家畜衛生広報いいだ

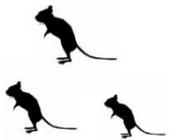
長野県飯田家畜保健衛生所
飯伊家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0265-53-0439, 0440
FAX : 0265-53-0441
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp
<http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/>

H30(2018)6月発行 2018No.2

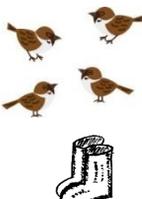
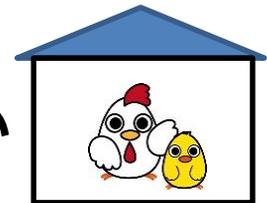
～喉元過ぎても熱さを忘れない～

今こそ鳥インフルエンザに備えましょう！

対策のポイントは「4つのない」



- ネズミやスズメなどを入れない(隙間等のチェック)
- 野鳥や野生動物を近づけない(鶏舎周囲の清掃、整頓)
- 車、人、餌、水を介して持ち込まない
- カモやハクチョウの飛来地に近づかない



国内における高病原性鳥インフルエンザの発生状況(平成29年11月以降)

野鳥

島根県(7事例)、東京都(1事例)、兵庫県(38事例)

(平成30年4月12日時点)

都道府県	市町村	検体回収日	種名	検査優先種 ^(注)	羽数
		平成29年11月5日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月7日	キンクロハジロ	1	1
		平成29年11月9日	キンクロハジロ	1	1
島根県	松江市	平成29年11月10日	ユリカモメ	1	1
		平成29年11月11日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月12日	コブハクチョウ	1	1
		平成29年11月12日	キンクロハジロ	1	1
東京都	大田区	平成30年1月5日	オオタカ	1	1
兵庫県	伊丹市	平成30年3月1～25日	ハシブトカラス	その他	38



家きん ● : 確定事例(1県1事例)
H5N6亜型
野鳥等 ☆ : 確定事例(3都県46事例)
すべてH5N6亜型

(注)検査優先種:
野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル
(平成29年10月 環境省自然環境局)に記載された感染リスクの
高い種(検査優先種1>#2>#3>その他の種)



家きん 香川県(1事例)

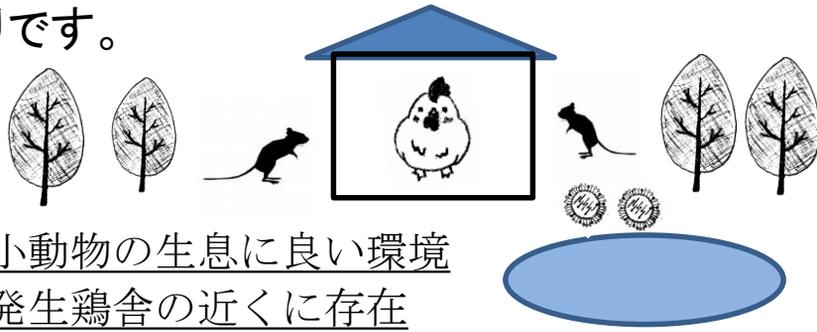
都道府県	市町村	疑似患畜 確定日	種名	飼養羽数
香川県	さぬき市	平成30年1月11日	肉用鶏	約9.1万羽



★第3期長野県食と農業農村振興計画★
～次代へつなぐ、笑顔あふれる信州の農業・農村～

国の疫学調査チームの報告より

平成29年度における高病原性鳥インフルエンザの発生に係る疫学報告書の概要は以下のとおりです。



1 発生農場の特徴

- 付近に竹林や雑木林 ⇒ 小動物の生息に良い環境
- 野鳥が飛来するため池が発生鶏舎の近くに存在
- ～ 鶏舎周囲のウイルスをネズミ等が鶏舎内に持込んだ!? ～



2 分離ウイルスの特徴

- 前年度に欧州で流行したH5N8亜型とユーラシア大陸の野鳥がもつN6亜型が再集合したもの
- 鶏への感染には比較的多くのウイルス量が必要
- 感染鶏のウイルス排泄量はこれまでのウイルスの1/10～1/100程度
- 鶏には高い致死性

3 国内への侵入時期・経路

- 平成29年11月初旬以降に渡鳥によって国内の広い地域に侵入

4 農場・家きん舎への侵入時期・経路

- 鶏の死亡数が増加したおよそ4～6日前と推定
- ネズミ等の野生動物または鶏舎に出入りする人等が持込!?

5 初動対応の検証

- 検査羽数を増やし解剖の上、検査材料を採る必要性
- 感染実験等による検査の信頼性の確認
- 家保における精度管理体制の整備

6 提言

- 周辺に水辺のあるハイリスクな農場における発生予防対策
- 水際検疫の強化
- 国内の研究・診断体制、国際的な連携関係の強化
- 初動防疫のための防疫演習、防疫資材の備蓄・管理
- 今後の検査体制の在り方について関係者の意識共有を図る
- ～ さらに強固な防疫体制の構築 ～